

多摩美術大学彫刻学科  
Department of Sculpture





彫刻は、様々な物質と空間の問題を孕む造形表現であり、複数の感覚器官に訴える極めて身体的な思考体験です。多摩美術大学彫刻学科では同時代に生まれる多様なメディアを取り込みながら、彫刻の新たな可能性を発掘し、自らの表現の確立を目指します。

Sculpture is the art of forming, and as such it is laden with problems of substance and space. You will use your integrated sense faculties to pursue the art and awaken concrete thought-experience. In the Specialized Curriculum, you will seek to unearth new possibilities in sculpture and establish your own form of expression while incorporating a range of contemporary media.

## 在校生インタビュー

萩原 寧音 彫刻学科4年

**彫刻学科を志望したきっかけは？**

中学のときから美術の授業が好きで、その中でも立体を作ることが楽しくて、立体ならではのパワフルさに惹かれて、その頃から美大にいきたいと思っていました。

**実際多摩美に入ってみてどんな印象でしたか？**

入学直後にインスタレーションを主軸とした実習があって、「彫刻」って自分が思うよりももっともって幅が広くて深くて、こんなに面白いんだ！って思いました。

**4年生になった今はどう感じていますか？**

今は、空間に何かを置くことによって、その空間が変化していくみたいなことが、自分にとっての「彫刻」なんだな、面白いなって思っています。それから多摩美にはアクティブな面白い人が沢山居て、私は1人で制作する時間も好きなのですが、それとは別にみんなでモノを作ることも大好きなんです。それで、彫刻学科だけじゃなく他学科の人たちとも、いろんなプロジェクトを並行してやってきました。そこでは様々な専門的なことを勉強している人たちの話が聞けるし、自分の幅を広げられるんです！例えば今は八王子市の選挙投票済み証と、若い人に選挙投票を促す啓発ポスターを他学科の学生と作っています。自分が作った何かが、その後社会でどう使われていくのかを思考する事はとても大切だし、いろんなプロジェクトを通してデザインや社会と繋がっていく表現の可能性のようなことに興味が生まれました。だから、将来は仕事と作品制作、この二つを両立したいと思っています！

**制作室の様子について教えてください**

アトリエは周りの学生が作品を作っている様子も間近で見られるし、お互いにアドバイスできるような空間になっていて、一緒に成長している感じがします。ライバルでもあるし、制作を手伝い合ったりもします。3年次の学外展は授業の一環で沢山の人の目に作品を見てもらえる場所で展示をしました。それが大きな制作のモチベーションになったし、フライヤーを作るところから、展示構成まで自分たちで相談しながら決めていったという経験は貴重だったなと思います。先生たちもどんなアイデアでも親身に聞いてくれて、距離が近くて相談しやすいです。

**これから受験する後輩に一言を！**

大学生の時間って、考えたり想像することを一番突き詰める時間だと思います。そしてそれを作れる時間がある。受験って試験対策とか、毎日同じことの繰り返しだったりすると思うんですが、いろんなところに行ったり新しいものを見たりした方がいい。そして、自分を表現する！自分って何だろう何がしたいんだろうって沢山考えて、大学に来てそれを思いっきりやってほしいなって思います！



林 理有多 彫刻学科2年

**「彫刻」に出会ったきっかけは？**

小さい頃から石を集めたり、触ったり、磨く感覚に魅力を感じて遊んでいたそうです。両親に美術館に連れて行ってもらって、何なんだろう？って見たりする中で、「美術家」という人たちの存在を知りました。高校で美術科に進学して、2年生の頃には彫刻をやりたいと感じていました。正々堂々と存在している本物感や、触ったり、身体とシンクロして鑑賞できるし、作り方も気になるし、自分で粘土を触って石膏取りしたりして、どんどん彫刻にのめり込んでいきました。

**一般入試ではなく総合型で入試を受けたんですね？**

高校で既に沢山作品を作っていたので、自分のやってきた事そのものをポートフォリオと面接で見てもらえる総合型入試を選択しました。

**多摩美に入学してからの印象などを聞かせてもらえますか？**

1年生の時はとにかく課題に食らいつかなきゃという感じでしたが、2年生になって少し落ち着いているな事を模索しながら、プロセスとして作品の作り方を考える様になりました。高校生の頃は彫刻といったら造形をする事だけが制作の主軸でしたが、今は彫刻って一体何なんだろうっていうところから遡って、そこから制作している気がします。それから、1、2年生には課題以外に自由に制作できる自主制作室があって嬉しいです。作品を作るための環境が整えられているという触れ込みは、本当だったと実感しました(笑)

**多摩美の全体の雰囲気はどう見えていますか？**

いろんな人が居て、皆が違うものを作っていて、それぞれ内面が作品に現れていて、新しい知識や価値観が次々と自分の中に入ってくる場所だなと感じました。至る所で常に展示やイベントが開催されていて、他学科の人がどういうものを作っているかを知ることできます。

**記憶に残った授業はありますか？**

素材転換の実習です。僕は哺乳瓶のシリコン型を取って鉛を流し込みました。素材が置き変わるプロセスを通して、モノの形や素材が内包する歴史を含めた意味を再考することを学びました。彫刻が成り立つ理由を見つけた気がして、同級生の作品も講評も強く印象に残ってます。

**10年後、それから将来どんな自分になりたいですか？**

10年後は、自分のアトリエを設計して自分で作る。作家として自立する！すごく先の未来で、誰が作ったかとかコンセプトとか、何も分からなくなっても、誰かがその存在を見つけてくれる様な作品を作りたいです！

**これから受験する後輩に一言を！**

美術館やギャラリーとか、いろんな作品を観に行くといいのかなって。すると受験自体が柔軟で楽しくなって、入学するための受験じゃなくて、彫刻するための受験みたいな感じじゃないかなって思います。



# カリキュラム

Curriculum

## 基礎課程 (1・2年) Basic Curriculum

石・木・鉄・土など彫刻における原初的な素材を直に手で触りながら、観察し、思考し、形作る訓練を行うと同時に現代美術表現の基礎を学びます。課題を通して基本となる造形力や、自らの視点でものを見て考える力、時代に翻弄されない新たなイメージの構築を目指します。

You will learn the fundamentals of modern artistic expression, and practice observing, thinking and shaping while working hands-on with the primordial materials of sculpture, such as stone, wood, iron and earth. Assignments will develop your basic modeling skills and the ability to see and think from your own perspective, so you can build new images unswayed by the times.

- 石彫実習 Stone Sculpture
- 木彫実習 Wood Sculpture
- 金属実習 Metal Sculpture
- 塑像実習 Clay Sculpture
- ブロンズ / FRP / テラコッタ Bronze / FRP / Terra Cotta
- 現代美術実習 Contemporary Art
- 実存実習 Physical Expression
- 彫刻試行実習 Sculpture Trial Expression
- 2D / 映像実習 2D / Picture Expression
- インスタレーション演習 Installation Expression

## 専門課程 (3・4年) Specialized Curriculum

基礎課程での様々な体験をもとに、学生が課題ごとにテーマ・素材・制作場所を自由に選択し、表現領域の一層の拡張や深化を図ります。また、様々なレクチャーやワークショップで、多角的な批評精神を養います。制作における主体性を重視し、個々の志向に対応する教育体制を整えています。

Building off their experiences in the Basic Curriculum, students can choose the themes, materials, and locations for completing each assignment, as they continue to broaden and deepen their expressive range. This curriculum has been designed to emphasize student independence and accommodate individual preferences.

- 実習 (石 / 木 / 金属 / 塑像 / ミクストメディア) Practicum ( Stone / Wood / Metal / Clay / Mixed Media)
- 演習 (FRP 型取り / 石膏取り / ガス型鑄造 / 蝟型鑄造) FRP Casting / Plaster Casting / Gas Casting / Wax Casting
- 学外展 Off-Campus exhibition
- 古美術研修 Historical Art Tour
- 課外研究ゼミ Extracurricular Seminar
- 卒業制作 Graduation project

## 大学院 Graduate School

表現者として更なる創作への意欲を発揮出来る場として、大学院専用アトリエ棟を設置し「理論の構築と実践」を目指します。また、大学院生に対して様々な支援プロジェクトを実施し研究活動をサポートしています。

The Department of Sculpture has its own graduate school building where students seek to build and practice theory. It is a place for artists to further pursue their creative ambitions. In addition, various support projects are offered for graduate students in order to aid their research activities.

- 大学院生専用スタジオ Graduate students studio
- 大学院選抜展 (学外にて展覧会を企画開催) Selection exhibition at an off-campus gallery
- 研究費補助制度 (大学院全専攻対象) Research grant system (all majors)
- 学外講師を含めた講評会 (年2回) Criticism by guest professors
- 彫刻論講座 Sculpture Theory lectures

## 研究サポートプログラム Support Program

学生やアーティストとして活躍する卒業生の発表の場として専門ギャラリーを併設、運営をしています。また、課外ゼミや様々な分野の専門家を招聘したワークショップなど、多様な角度から作品と社会との接続を考えるプログラムを用意しています。

The Department of Sculpture owns and manages a dedicated gallery to serve as a place for students and graduates working as artists to exhibit their research. There are also programs for thinking about the relationships between art and society from various angles, including extracurricular seminars and workshops with outside specialists in a range of fields.

- 国際交流研修旅行 International exchange study trip
- 海外留学支援 Support for overseas study
- ポートフォリオ指導 Portfolio guidance
- 彫刻棟ギャラリー企画展 Sculpture Building Gallery Special Exhibition
- 多様なゲスト講師を交えたワークショップや講座 Workshops and lectures featuring various guest instructors

## 卒業制作 Graduation Works



HEIKO 思考 / 土川大貴



Blue mask / 柴田真央



破風 / 田所和真



ちち / 山田実紀



Sex with Capitalism / YE Zijing

## 実習風景 Study Scenes



## 卒業生インタビュー

### 古賀義浩 さん



1986年生まれ、久留米市在住  
 2009年 多摩美術大学美術学部彫刻学科 卒業  
 2019年「モノリスの向こう」(アートプロ・ガラ、福岡)  
 2017年「ARS/NATURA - 「風景」の向こう側」(福岡県立美術館)  
 2016年「行雲流水 青木野枝+古賀義浩」(Operation Table、福岡)  
 2016年 レジデンス・プログラム「Hongti Art Center」(釜山、韓国)

#### 彫刻学科を志望した理由

美術学科のある高校に通って彫刻を専攻していました。同級生はみんな絵が上手で、僕は絵よりも粘土やいろいろな素材で実際に体を動かして物を作る方が向いていると感じていました。いくつかの彫刻作品を作る中で、周りの人より上手くできる手応えがあったり、新しく作ったものが前に作ったものより思いどおりに作れたりといった、小さな成功体験が積み重なり、彫刻をすることが楽しくなってきました。もっといろいろな人の作品を見て、自分でもいろいろなものを作れるようになりたいと思ったことが美大の彫刻学科を目指すきっかけでした。

#### 多摩美時代の印象的な出来事

作品制作です。3、4年になり、とにかく思う存分に作品制作に時間を当てられるようになって、工房に籠ってずっと何かを作っていたように思います。作りたかったときにすぐに実行にうつせる環境は本当にありがたかったです。あとは、長期の休みなどに、友人たちと遠方の美術館や展覧会に旅行に出かけたことです。お金が無かったので18きっぷなどで電車を乗り継いで遠いところへ行ったり、その時にしか出来ない時間の使い方を、いろいろなものを見たり体験出来たのはとても良かったと思います。

#### アーティストを志したのはいつ

はっきりとは覚えていませんが、卒業した年の秋に瀬戸内の小豆島でやっていたアーティスト・イン・レジデンスに参加出来た時でしょうか。制作費を買いながら作品を作ることができる環境があることを知り、「こんな幸せなことはない...!」と思いました。大学を出た後はなかなかまとまらずに制作ができなかったのも、思い切り制作できることが嬉しい反面、十分な制作環境を整えるのはとても大変な事なんだと、その時改めて知りました。この経験がその後の活動の指針になっていくと思います。それから、在学中に第一線で活躍するアーティストを間近で見られたことは、大きな糧になったと思います。制作や展示作業の助手をする機会があり、作品発表の場がどのような流れで作られているのか、進行形の現場で体験できたことは、美術の世界により強く興味を持つきっかけになったと思います。

#### これから受験する後輩に一言を!

大学には自分が作りたいと望めば多くのことが叶えられる環境が整っています。受験勉強中は、実技面でうまくいかないことや、志望先や将来について悩むこともあると思います。今が成長している最中です。すぐに成果が現れなくても、やりたいことが変わっても、自分の経験したことが無駄になることはないの、自分を試すつもりでいろいろなことに挑戦してみるといいと思います。自分を信じるための励みになる何かが見つかるといいです。



「見とおしのよいところ(塔)」2023年



「ホルトランド島の週末」2023年



「family tree」2019年



「family tree」2019年

#### その他の進路

(株)ヴァンドームヤマダ (株)角川大映スタジオ (株)京屋 (株)グッドスマイルカンパニー (株)Cygames (株)サザビーリーグ (株)四季 劇団四季  
 スズキ(株) (株)タカラトミー (株)土屋鞆製造所 (株)TBSスパークル (株)東北新社 ニチハ(株) 日産自動車(株) (株)日本美術工芸 任天堂(株)  
 (株)飛騨産業 (株)フジテレビジョン プラチナゲームズ(株) (株)本田技術研究所 (株)ワールドコーポレーション 全国小中高校・大学の教職員

多摩美術大学 彫刻学科  
 TAMA ART UNIVERSITY  
 DEPARTMENT OF SCULPTURE

〒192-0394  
 東京都八王子市湊水 2-1723  
 TEL : 042-679-5622

192-0394  
 2-1723 Yarimizu, Hachioji, Tokyo  
 TEL : 042-679-5622

<https://sculpture.tamabi.ac.jp>



JP



EN

# 制作環境

広い敷地内に専門工房が6棟、様々な専門実習室30室が整備されており、国内の美大では屈指の制作環境です。

## Workshops

Totalling 30 studios including 6 professional workshops, this is one of the best environments among art schools in Japan.



石彫棟 Stone shop

### 主要な設備 Main Facilities

- 大切断機
- 大研磨機
- 門型クレーン
- 昇降リフター
- マルチコンプレッサー
- 大型サンドブラスター
- イタリア工具各種
- ヒルティコアドリル
- 石材用クランプ 700kg用
- ホイストクレーン 2.5t
- ハンドリフター x4
- Large cutting machine
- Large polisher
- Portal crane
- Lifter
- Compressor
- Large sandblaster
- Italian-made tools
- Core drill (Hilti)
- 700kg Clamp
- Hoist crane
- Hand-lifter



木彫棟 Wood shop

- 大型バンドソー
- 中型バンドソー
- 卓上ベルトサンダー
- 自動カンナ
- ボール盤
- 大型集塵機
- 電気カンナ
- 曲面カンナ
- 各種チェンソー
- ポリッシャー
- パワーリフター
- 回転研ぎ機
- ホイストクレーン
- トリマー
- リューター
- 大型万力
- Large band-saw
- Mid-size band-saw
- Belt sander
- Auto planer
- Drill press
- Large dust collector
- Electric planer
- Curve planer
- Chainsaws
- Polisher
- Power lifter
- Electric sharpener
- Hoist crane
- Trimmer
- Leutor
- Large vise



金属棟 Metal shop

- TIG 溶接機 x4
- アーク溶接機 x4
- 半自動溶接機 x2
- プラズマ溶断機
- 高速切断機
- プレス機 x3
- ホイストクレーン
- パワーリフター
- コークス台
- メタルソー
- バンドソー x3
- 三本ローラー
- ボール盤 x2
- ガス集中配管装置
- ベルトサンダー x2
- 両刃グラインダー x2
- TIG welder
- ARC welder
- Semi-auto welder
- Plasma cutter
- High-speed cutter
- Press machine
- Hoist crane
- Power lifter
- Coke oven
- Metal saw
- Band saw
- Roll bender
- Drill press
- Centralized gas piping
- Belt sander
- Grinder



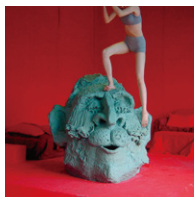
塑像棟 Clay shop

鑄造棟 Cast shop

- ガス窯
- 電気窯
- 塑像用回転台各種
- 真空脱泡機
- 研磨 / 集塵ブース
- 塗装 / 集塵ブース
- ブロンズ溶解炉 (300番、50番)
- アルミニウム溶解炉 (30番)
- Gas kiln
- Electric Kiln
- Variable turn-table
- Deforming machine
- Polishing booth with dust collector
- Spraying booth with dust collector
- Bronze melting furnace
- Aluminum melting furnace

## 教員 Teachers

### 専任 Full-time



高嶺 格  
Tadasu Takamine



水上 嘉久  
Yoshihisa Mizukami



笠原 恵美子  
Emiko Kasahara



高山 陽介  
Yosuke Takayama



木村 剛士  
Takeshi Kimura



中谷 ミチコ  
Michiko Nakatani

### 客員教授 Guest professors

金巻 芳俊  
Yoshitoshi Kanemaki

木村 絵理子  
Eriko Kimura

福永 治  
Osamu Fukunaga

フロリアン・クラール  
Florian Claar

### 非常勤講師 Part-time

伊藤 一洋  
Kazuhiro Ito

井原 宏蒔  
Koro Ihara

岡 啓輔  
Keisuke Oka

岡田 健太郎  
Kentaro Okada

岡本 彰生  
Akio Okamoto

岡本 健十  
Tsuyoshi Okamoto

開発 好明  
Yoshiaki Kaihatsu

垣本 圭子  
Keiko Kakimoto

田島 史朗  
Shiro Tajima

橋本 雅也  
Masaya Hashimoto

松井 雅世  
Masayo Matsui

松本 隆  
Takashi Matsumoto

三宅 感  
Kan Miyake

### 研究室 Assistants

石川 慎平  
Shinpei Ishikawa

加藤 舞  
Mai Kato

工藤 雄大  
Yudai Kudo

高木 謙造  
Kenzo Takagi

ミズタニ タマミ  
Tamami Mizutani